



「海に出ればスカッとする」と話す青木さん(左端)とスクールの受講生ら

ヒント④

大阪は海の民のまち／精神論一切なし

結果重視の柔軟思考／解決策導く人材を

**中高年に
ヨット指導**

青木 洋さん
(田尻町)

「大海原に抱かれ、人生を問い直したい」。こんな思いに胸を膨らませる全国の中高年が、田尻町に吸い寄せられている。ヨット最小艇世界一周記録を持つ青木洋さん(54)が主催するヨットスクール(0724・65・8192)で学ぶためだ。受講生の70%以上は40歳以上で、大半が男性。「一生懸命働いてきた。残る人生はどうしたらいいんだって顔している」と、青木さんが笑う。

精神論の講義は一切無い。ヨットを操作する技術だけを学ぶ。「風や潮流を自在に操って海に乗り出すと、変なことは考えないよ」と、受講生たちの顔は明るい。

「東京は秩序を尊ぶ馬の民、大阪は秩序よりも結果を優先する海の民の

まちだった。『あの馬のれ、時代は転換期を迎えている。青木さんはそうでしょ、だから活動しやすい』と青木さん。阪人が持っていた、結果を重視する海の民の考えか」と、論を展開する。98年の開設以来、卒業生は350人を超し、海は願う。【佐藤孝治】